

世界クラシックパワーリフティング選手権大会

6月6日～6月11日

南アフリカ サンシティ サンパーク 団長：渋谷優輝 男子7名 女子2名 計9名
サンシティ内は、外部の町と区切られており、エリア内は、旅行者とスタッフ等、許可されている人しか入ることができない空間で、治安はよかった。

本番台：新型エレイコ アップ場は、旧型エレイコ、ブル等

気候：日中は、穏やかで過ごしやすいが、朝晩の冷え込みは、ダウンを着ることもあった。

トータル 銀メダル 1 個、 銅メダル 1 個 種目別 金メダル 1 個、 銀メダル 3 個、 銅メダル 2 個

年々、クラシックの記録が上がり、世界記録が次々生まれている。女子 57kg 級においても、SQ183kg、B123kg、D228kg の世界新記録が生まれている。女子も 200kg を普通に挙げる時代にきているのか、すごいことになっている。

日本からは、57kg 級 2 名が参加。大川祐依選手は、SQ120kg、B72.5kg、D142.5kg、T335kg で 15 位、本多まゆみ選手は、SQ100kg、B60kg、D140kg、T300kg で 16 位だった。



男子 59kg 級蛭原孝晴選手は、B135kg で金メダル。SQ200kg で 3 位、D220kg で 2 位、T555kg で 2 位 4 つのメダルを獲得した。66kg 級牛山恭太選手は、SQ232.5kg、B170kg で 2 位、D282.5kg (日本新) で 2 位で B と D で追い上げ T685kg (日本新) で 3 位銅メダルを獲得した。同じく 66kg 級渋谷優輝選手は、SQ247.5kg (日本新) で惜しくも 4 位、B150kg、D235.5kg、T632.5kg で 8 位、選手と団長お疲れ様でした。74kg 級川島達也選手は、B195kg で 3 位銅メダルを獲得。SQ222.5kg、D235kg、T652.5kg で 12 位だった。83kg 級照沼直樹選手は、SQ250kg、B170kg、D267.5kg、T687.5kg で 16 位だった。93kg 級鶴谷史門選手は、SQ255kg、B162.5kg、D295kg、T712.5kg で 22 位だった。105kg 級栗原弘教選手は、SQ290kg、B187.5kg、D275kg、T752.5kg で 16 位だった。

93kg 級は、25 人、83kg 級は、22 人と参加者が増加し、クラシック大会のレベルが上がっていることと参加人数の増加で大変盛り上がっている。日本選手団としても、チーム一つとなり、盛り上がった。南アフリカは、治安が悪いと聞いているが、今までの大会でも、隔離された区域に会場があることが多く、個人的に規定外の行動をしなければ、今のところ無事に大会が行われている。しかし、何が起るかわからないのと、急な変更もあるので、情報収集と慎重な行動は、大事である。

